

(様式第1号)

## エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	ゼロワットパワー株式会社				
代表者名	氏名	佐藤和彦	役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	〒277-0871 千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパスK01L				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	1. 小売電気事業 バイオマス発電などの再生可能エネルギーを中心とした電気の小売事業を2017年7月から実施しています。 供給地域は沖縄を含む全国です。 子会社のバイオマス発電書の電力の買取・販売を行っています。 他の小売電気事業者への再生可能エネルギーの卸販売も実施しています。  2. 発電事業 2022年7月よりLNG発電所による発電を開始 将来的にカーボンニュートラル燃料へ転換予定				
電力供給量(総量)	1,296,921	千kWh	電力供給量(長野県)	2,151	千kWh

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2020	年度	～	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
------	------	----	---	------	----	--------	------	----

### 3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	弊社代表電話番号にお問い合わせいただき、希望する方に計画書の複写をメールにて送付いたします。 代表04-7126-0561

#### 4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

”事業方針”より

1. 我々は、「創業の精神」である化石燃料エネルギーの大量消費から脱却し、“二酸化炭素排出ゼロの発電を目指す”活動に取り組む事により、国際社会が推進する気候変動対策に貢献する。
2. 我々は、小売電力事業に係わる全ての活動において、環境と共生するクリーン電源の普及拡大を目指し、再生可能エネルギー発電事業者の支援・連携に貢献する。
3. コスト削減に取り組み、安価で質の高い再生可能エネルギー普及拡大に貢献する事で、安定した事業活動を継続する。

#### 5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

- ・再生可能エネルギー発電所からの調達について専任担当者を複数配置し、北海道エリアから沖縄エリアまで再生可能エネルギーの調達に取り組んでいる。
- ・バイオマス発電を推進するため、社内に構築・運用に関する組織を設置。
- ・RE100に対応した、再生可能エネルギー電力プランを設定し、積極営業を展開。
- ・環境マネジメントシステム（ISO14000）に基づく管理責任者を中心に目標設定および施策の実行管理を行っている。

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準年度	実排出係数	0.000099	t-CO2/kWh
2019年度	調整後排出係数	0.000419	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	0.000050	t-CO2/kWh
2022年度	目標削減率	49.5	%
目標設定に関する説明	原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針		
第一年度	実排出係数	0.000017	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000085	t-CO2/kWh
2020年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	5.30	千t-CO2
排出係数等の増減理由	<p>原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針により、実排出係数を低減。</p> <p>2020年度より、非FIT非化石証書によるオフセットが可能となった事から、調整後排出係数を大幅に低減出来た。</p>		
第二年度	実排出係数	0.000024	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000000	t-CO2/kWh
2021年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	11	千t-CO2
排出係数等の増減理由	<p>原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針により、実排出係数を低減。</p> <p>非FIT非化石証書によるオフセットを行い、排出係数を大幅に低減できた。</p>		
第三年度	実排出係数	0.000000	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000000	t-CO2/kWh
2022年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	0	千t-CO2
排出係数等の増減理由	<p>原則、化石燃料を使用した発電所からの調達を行わない方針により、実排出係数を低減。</p> <p>非FIT非化石証書によるオフセットを行い、排出係数を大幅に低減できた。</p>		

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

FIT電力は、太陽光は風力、水力、バイオマスなど幅広い再エネ電源を調達しています。  
FIT電力だけでなく、  
環境価値を有する非FITの水力発電やバイオマス発電所からの調達積極的に推進します

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)								
基準年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0	%	
	LNG火力		%	水力	10	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	17	%	
2019	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>	69	%	その他 (インバランス等)	4	%
最終年度 における 見通し <sup>※1</sup>	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)		%	
	LNG火力		%	水力	10	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	6	%	
2022	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>	81	%	その他 (インバランス等)	3	%
第一年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	3	%	
	LNG火力		%	水力	5	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>		%	
2020	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>	71	%	その他 (廃棄物発電など)	21	%
第二年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	23	%	
	LNG火力		%	水力	5	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>		%	
2021	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>	41	%	その他 (廃棄物発電など)	31	%
第三年度	石炭火力		%	原子力		%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	2	%	
	LNG火力		%	水力	5	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>		%	
2022	年度	石油火力		%	FIT電気 <sup>※2</sup>	62	%	その他 (廃棄物発電など)	31	%
備考	<p>その他 (廃棄物発電など) には、CO2ゼロエミッション電源として 廃棄物発電 (再エネ指定なし)、及び送配電事業者とのインバランスを含みます。</p>									

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気 (FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	77,673	千kWh	468	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力	9,662	千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh	68,011	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2019 年度									
最終年度 における 見通し	116,272	千kWh	700	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力	12,777	千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh	103,495	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2022 年度									
第一年度	247,026	千kWh	731	千kWh	太陽光		千kWh	18,177	千kWh
					風力		千kWh	19,083	千kWh
					水力	12,110	千kWh		千kWh
					バイオマス	7,553	千kWh	190,103	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2020 年度									
第二年度	326,458	千kWh	1,002	千kWh	太陽光		千kWh	98,598	千kWh
					風力		千kWh	39,628	千kWh
					水力	21,229	千kWh		千kWh
					バイオマス	57,083	千kWh	109,920	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2021 年度									
第三年度	888,910	千kWh	1,473	千kWh	太陽光		千kWh	477,027	千kWh
					風力		千kWh	128,340	千kWh
					水力	65,533	千kWh	72,021	千kWh
					バイオマス	17,778	千kWh	128,211	千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2022 年度									
備考	<p>その他（廃棄物発電など）には、CO2ゼロエミッション電源として          廃棄物発電（再エネ指定なし）、及び送配電事業者とのインバランスを含みます。</p>								

(様式第1号)

## 9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

<ul style="list-style-type: none"><li>RE100に対応した、再生可能エネルギーのメニュー展開。</li></ul>
--

## 10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

<ul style="list-style-type: none"><li>廃食油を燃料とするバイオマス発電所の建設推進</li><li>スイートソルガム等、新規バイオマス燃料の研究開発</li></ul>
---

## 11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	なし
家庭・事業者のエネルギー対策への協力	お客様の要望に応じて、電力使用状況の情報提供の取り組みを行っています。
その他	

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・バイオマス燃料として廃食油を使用するため、廃食油の収集事業者と連携し、店舗や家庭からの廃食油を効率的に調達する仕組みづくりを行った。</li><li>・廃食油を用いたバイオマス燃料による発電所の電力を、同県内のお客様へ電力供給を行った。</li></ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・お客様の要望に合わせて地域の発電所からの電力を供給する、地産地消電力の供給プランを用意。(一部地域)</li></ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体様との地産地消電力供給を2件実施。</li></ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃食油を用いたバイオマス燃料による発電所の電力を、同県内の排出元へ電力供給することにより、エネルギー循環事業を実施。</li></ul>

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ISO14000取得による事務所の省CO2化推進</li><li>・持続可能なバイオマス燃料の研究開発の推進(資源作物の活用、バイオマス液体燃料の改質など)</li><li>・調整後CO2排出係数0.00(kg-CO2/kWh)のメニュー利用の推奨を行っています。</li><li>・希望するお客様向けに、電力利用状況を踏まえた節電のアドバイス等を行っております。</li></ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・RE100に対応した電力の要望に応えるため環境価値を付属できる電源の調達に努めています</li></ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・RE100に対応した電力の販売を積極的に展開しています。</li></ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・国及び独立行政法人、自治体などの環境配慮契約に積極的に対応しています。</li></ul>

1.3 自由記載欄

ゼロワットパワーは低炭素社会を実現するために、水力や風力やバイオマスなどによる電気を組合せた、持続可能なエネルギー供給システムの構築をめざしています。需要家の皆さまが「ゼロカーボン」「ゼロカーボン+」電力を選んでいただくことにより、電力システム全体の環境負荷を低下させることができます。